

わがまち工房

「自転車で暮らしやすいまち」をテーマに成果報告



市民が市職員と協働で調査・研究を行う「笑顔のまち工房」の報告会が平成29年11月20日、市保健所・消防合同庁舎で行われ、市民メンバー16人が「自転車暮らしやすいまち」をテーマに半年にわたる活動成果を発表しました。報告を受けた野志市長は

「行政からの一方通行ではなく、皆さんと一緒にまちづくりをやっていくことが大事。引き続き市政に関心を持ってほしい」と話しました。提言は検討され、実現可能なものから市政に反映していきます。

提言内容の要旨

■自転車の走行ルールを守る環境づくり

「自転車は左側通行」の認知度を高めるため、サンタクロースや小説『坊っちゃん』の登場人物などの格好で車道の左側をみんなで行くイベントを開催する。仮装などで話題性を高め、SNS(ソーシャル・ネットワーク

ワーキング・サービス)による拡散やメディアに取り上げてもらうことで、参加者以外の人にも走行ルールを周知・啓発することができると見込んでいる。

■安全な自転車交通を目指す!

みんなが安心して道路を利用できるように、市内で自転車事故が多く発生している場所に、街灯や交差点注意喚起ランプ・標識・減速帯などを設置するなどの安全対策を実施する。また歩道がなく路肩が狭い中之川通線に自転車専用通行帯を設置する。

■コミュニティサイクルが走るまちづくり

大学内の放置自転車などを有効活用したサイクルポートを設置して、自転車を利用した遍路旅など、地

域の魅力を体験できるようにするほか、松山市駅や市役所に市民と観光客がより気軽に利用できるコミュニティサイクル(自転車共同利用サービス)を整備する。

市政を身近に感じられた



小川 晃平さん (愛媛大4年)

私たちが市民の生の声を市長に提言できる素晴らしい取り組みだと思います。市政を身近に感じることができ、とても有意義な時間でした。

☎タウンミーティング課 369486333・FAX93423

1月14日(日) 開催 地球人まつりinまつやま・えひめ2018

市民と市内在住の外国人の皆さんとの楽しい交流イベントです。ご家族、ご友人お誘いあわせの上、ぜひご来場ください。

日時 1月14日(日)13~17時
会場 総合コミュニティセンター(湊町七丁目)企画展示ホール

内容 遊ぼう! 80分間世界一周! = 「地球人パスポート」を片手に世界の国々のブースを回り異文化体験▶知ろう! えひめの地球人! = 県内の国際交流活動団体などによる活動紹介▶味わおう! 地球人キッチン=世界の料理を紹介(食べ物の販売あり)



昨年の様子

〈有料〉▶楽しもう! 地球人パフォーマンス=世界各国のダンスや音楽演奏などを披露▶着てみよう! 世界の民族衣装! = 世界の民族衣装の試着体験

料金 入場無料

☎まつやま国際交流センター 943-2025・FAX931-2041、県国際交流センター 917-5678・FAX917-5670

新国立競技場を設計した建築家 隈研吾さんが市長を訪問



木造建物の魅力について話す 隈さん(左)と野志市長

新国立競技場を設計し、まちづくりにも造詣の深い建築家・隈研吾さんが平成29年11月21日、あわい茶生産グループが本市で主催した講演会にあわせ市長を訪れました。講演会に先立ち、中島・栗井の集落を訪れていた隈さんは「木造建物にまとまりがあって日本の集

落の原型を感じさせる。あわい茶など生産性のある産業があることも面白い。松山市の隠れた宝」と話しました。野志市長は「忽那諸島を盛り上げていきたいと思っていた。その中で隈さんに興味を持っていただけるとは心強い。協力して忽那諸島を元気にしていきたい」と期待を寄せました。

隈さんはその後、坂の上の雲ミュージアムで「中島栗井集落の木造建物とこれから」をテーマに講演をしました。☎坂の上の雲まちづくりチーム 94869996・FAX9341804

市長と話そう! タウンミーティング



活発な意見交換の様子

「生石地区のまちづくり」をテーマに平成29年11月22日、地域別タウンミーティングが生石公民館で開催されました。参加者からは、安全・安心なまちづくりや地域資源を生かしたまちづくりなどについての意見や要望が挙がりました。野志市長は、市の財政状況を説明し、「地域の強みを知っている皆さんとともに、知恵と工夫と連携で課題を解決していきたい」と話しました。

「生石地区のまちづくり」をテーマに開催

●意見・要望
生石小学校の児童が通学で使う歩道橋が改修工事で使えなくなるため、児童が安全に通学できるか心配
●地域に住む市職員に、それぞれの得意分野を生かして勤務時間外に地域活動を支援してほしい

活発な意見交換ができた



替地 和人さん (高岡町)

地域課題の意見が活発に出て、市長や担当者の表情を直接見ながら説明を聞くことができ良かったです。私たちも地域を盛り上げていくためにがんばっていきましょうと思いました。

感想

●市長が地元の声を直接聞いてくれることは、とても必要なことだと思った
●「発言を聞きっぱなしにせず、確実に対応する」という市役所の姿勢を心強く感じた

☎タウンミーティング課 9486333・FAX9342336

「坊っちゃん」題材のオリジナルテレビドラマ「赤シャツの逆襲」市長を訪問



市長を訪問した佐藤さん

子規・漱石生誕150年を記念して南海放送(株)が制作したオリジナルテレビドラマ「赤シャツの逆襲」で主役の赤シャツを演じた俳優の佐藤二朗さんが平成29年11月20日に野志市長を訪ねました。

このドラマは夏目漱石の小説「坊っちゃん」の中で意地悪な憎まれ役として書かれた赤シャツのモデルといわれた横地石太郎が現代によみがえり、自らの潔白を証明するため、同じく現代によみがえった漱石と法廷闘争を繰り広げるというストーリーで、11月24日に放送されました。

佐藤さんは「愛媛の人とは仕事でつながりがあり、もともと思い入れのある土地だった。地方が元気になるようなドラマを立ち上げるのは素晴らしいことだ」と話しました。☎文化・ことば課 9486952・93412887

「漱石アンドロイド」が市長と面会



野志市長と握手を交わす 漱石アンドロイド

平成29年11月23日には「漱石アンドロイド」が市役所を訪れ、野志市長と面会しました。市長から「松山へようお帰りのなまし」と歓迎されると、「松山の方言、懐かしいですね」と答え、当時入浴した道後温泉本館や子規と過ごした松山での日々を懐かしんでいました。

漱石先生は「松山は正岡と一緒に過ごして、たくさんのお話を聞けた思い出深いまち。今回、再び訪れることが出来てとても良かったです」と話していました。☎文化・ことば課 9486952・93412887